## もりおかの短歌』 夏の部

## 一般部門〉 優秀賞十首

高松 の

池の辺のりんご園

こうぎょく

今年も紅玉たわわに実ることし こうぎょく みのる

盛岡市 小林 貴史

岩手山仰ぎていわてさんあお

いっこ みち えき

憩う道の駅

啄木偲ぶ渋民の初夏たくぼくしのしぶたみしょか

盛岡市 河野 康夫

もりおか

盛岡で

我を捉えし鉄風鈴

あの日の音に縁側で鳴る

青森県青森市 加藤 健 郎

鈴の音の中の静謐

愛馬曳く横がお清し

チャグチャグ馬コ うま

滝沢市 郷家 美磨

生徒らの歌の言葉は

不来方の城の青空

羽ばたく小鳥

秋田県大仙市 鈴 木 仁

緑陰に

しぶたみしょう きゅうこうしゃ

渋民小の旧校舎

教壇に立つ啄木の影

東京都江東区 藤村 清彦

不来方の で ず かた

城下に冷酒ひとり酌む

鉄杯に在り炎の御霊でっぱい あ ほのお みたま

青森県弘前市 木村 匡

土壁に

涼を求めて見学す

古き校舎よ渋民の地よ

千葉県船橋市 川﨑 富 子

冷麺の西瓜手にとる頃合いがれいぬん。すいかて

何故か異なる

父母わたし

神奈川県川崎市 守 屋 早紀

箸すすむ

次々重なる椀の山

笑い声まで積もってゆけりからでえ

東京都新宿区 三田 光希

## もりおかの短歌』夏の部

〈ジュニア部門〉 優秀賞

(応募時、 中学生以下に限る)

微温風

雲隠れにし岩手山

蝉の鳴く声胸に残りて こえむね

千葉県市川市 奈良岡 凛

音響け心ひとつに踊りぬく

もりおかの夏

幸呼来幸呼来

盛岡市 高桑 優菜

## 【講評】

です。 が多かったように感じます。選んだ基準は、次のとお しかし、 暑すぎる日の続いた夏の期間に寄せられた歌でした。 暑さを訴えているものは少なく、涼しげなもの り

るのではなく、盛岡についてはこれだ、とい よくとらえていた歌を選びました。どこにでもあてはま 歌に詠んでいただきたい、 題材を見つけたならば、 に出してよんでみたとき、ここちよいものをです。よい また、その一首だけで、盛岡にまつわるものの特徴を まず、短歌の音数によくかなうものを選びました。 ていただければありがたい、 伝統的な音数も大事にして、 と思います。 と思います。 った表現を 短